

令和元年 6 月 26 日

《委員長報告取りまとめ》

◎土居委員長 ただいまから、産業振興土木委員会を開会いたします。

(午後 1 時 00 分開会)

◎土居委員長 本日の委員会は「委員長報告の取りまとめについて」であります。

お諮りします。

委員長報告の文案については、お手元に配付してありますので、この内容の検討をお願いいたします。

文案を書記に朗読させます。

◎書紀 産業振興土木委員会が付託を受けた案件について、その審査の経過並びに結果を御報告いたします。

当委員会は、執行部関係者の出席を求め、慎重に審査致しました結果、第 1 号議案、第 10 号議案、以上 2 件については、全会一致をもって、第 8 号議案、第 15 号議案、以上 2 件については、賛成多数をもって、可決すべきものと決しました。

以下、審査の過程において論議された主な事項について、その概要を申し上げます。

初めに、土木部についてであります。

第 1 号「令和元年度高知県一般会計補正予算」のうち、「手結港海岸緑地公園活性化事業委託料」について、執行部から、県中部エリアの観光拠点となるヤ・シィパークの活性化に向けた調査を行うための経費であるとの説明がありました。

委員から、ヤ・シィパークの活性化のため調査を委託するということが、最終的にどれぐらいの規模になるのか。また、地元との協議なども含めて色々な取り組みをしていくことになるが、どういうところが調査をするのかとの質疑がありました。

執行部からは、ヤ・シィパークの整備は新たに造成などをするわけではなく、既存の施設などを活用しながらの整備を考えている。8 月中旬には委託契約を行い、12 月には成果品として、費用対効果等を含めた施設の規模、種類など、ランドデザインに沿った戦略を組めるのかどうかも含めた調査結果を求めたいと考えている。

委託先については、全国から一般公募でプロポーザル方式を考えており、基本的には経験を有するコンサルタントにお願いしたいと考えている。また、香南市や民間団体も入っている協議会を立ち上げているので、委託先には、この協議に加わってもらい、地元の意見を吸い上げて進めていくとの答弁がありました。

次に、第 15 号「令和元年度高知県一般会計補正予算」のうち、「測量調査等委託料」について、佐川町から新たな管理型産業廃棄物最終処分場の受け入れを受諾する回答があったことから、周辺対策として、長竹川の改修について検討するための費用であるとの説明がありました。

委員から、一応、佐川町から了解が得られた形で進めることになるが、地元の中にはまだ納得いただけていない方もいる。そういった方がこの事業にも反対である場合は、改修を待つことになるのかとの質疑がありました。

執行部からは、整備を行う必要のある河川であり、今回、周辺対策ということで、優先順位が高くなったものである。地元での意見に対しては、河川事業としての御理解をいただけるように進めていきたいとの答弁がありました。

次に、報告事項についてであります。

初めに、産業振興推進部についてであります。

「まるごと高知レポート」について、執行部から、今回のレポートは、平成30年度の取り組みの総括となっており、外商活動では、公社の仲介あっせんによる平成30年度の成約件数は前年度比5.4%増、成約金額は19.7%増と、着実に伸びてきているとの説明がありました。

委員から、ゆずなど一部の商品が競合している印象があるが、オール高知としての取り組みはどのようにしているのかとの質問がありました。

執行部からは、商品によっては競合する部分もあるが、例えば、地産外商公社が、外商先の情報をつないだ県内事業者が対応できない場合でも、その事業者から別の対応可能な事業者を紹介していただけるなど、本県には事業者間の良い協力関係が築けているとの答弁がありました。

別の委員から、観光・移住・ふるさと情報コーナーへの相談が1,236件あり、これだけの方が興味を示してくれているので、追加でメールを送るなど、相談後も高知につながるような取り組みを行ってほしいとの要請がありました。

次に、観光振興部についてであります。

「リョーマの休日～自然&体験キャンペーン」の取組状況について、執行部から、このキャンペーンでは、歴史、食に次ぐ柱として、自然体験型の観光資源を磨き上げ、新しい観光事業を創出し、中山間地域の振興と、インバウンドの誘致拡大につなげる取り組みを進めているとの説明がありました。

委員から、自然体験は事故がつきもので、非常にリスクもある。一方で事故を防止するための取り組みは、体力のない運営者だと手薄になることが考えられるが、県として応援をする仕組みが必要ではないかとの質問がありました。

執行部からは、安全管理の部分は非常に大事で、現在アドバイザーの方に入ってもらい、安全確認事項の確認など個別に実施しているが、今後、安全対策の研修会を企画するなど、取り組みを強化していきたいと考えているとの答弁がありました。

さらに委員から、アクシデントのあとに対応が十分できることが、大きな信頼につながるので、そこはしっかり議論していただきたいとの要請がありました。

別の委員から、インバウンド客の高知県への誘致拡大において、台湾、中国、香港などに対してメディアを活用したPRは行っているかとの質問がありました。

執行部から、メディアの活用については現在、台湾や香港から、現地メディアの方を高知に招き、直接取材をしてもらって、情報発信する取り組みを進めているとの答弁がありました。

別の委員から、高知駅前の「こうち旅広場」について、これまでの幕末維新博から変わり、少しにぎわっていない印象がある。ステージも含めた、今後の展開についてどのように考えているかとの質問がありました。

執行部からは、ご指摘どおり、にぎわいの面で少し苦戦をしており、我々も課題と考えている。「こうち旅広場」のにぎわいづくりについても、この自然体験キャンペーンの取り組みの中で検討していきたいとの答弁がありました。

また、別の委員から、とさてらすや「こうち旅広場」について、今後どのように活用して、県内各地の観光地に誘導していくのか、自然体験キャンペーンは公共交通で来ても大丈夫という、全体的な仕組みづくりにも活用してもらいたい。そのため、何が必要か考えていくべきだが、今後どのようなスケジュール感で進めていくのかとの質問がありました。

執行部からは、今後、高知駅前を公共交通の結節点として、どのように活性化していくか、これから第4期産業振興計画の策定過程で、関係者と意見交換を行うので、意見を聞いて、プランを立てて、できるところから実行していきたいと考えているとの答弁がありました。

別の委員から、新たなビュースポットの整備は、市町村と連携し住民力を生かして取り組んでもらいたいとの要請がありました。

次に、土木部についてであります。

都市計画道路高知駅秦南町線の工程の見直しについて、執行部から、橋梁下部工工事の工事用仮橋に使用する高力ボルトが全国的な需要増に伴い入手が困難となり、準備期間や施工方法の検討に2ヶ月を要したことから、橋脚工事が遅延し、渇水期内の完成が見込めなくなった結果、全線4車線の完成時期を1年延期することになったとの説明がありました。

委員から、特に赤十字病院が開院したことによる緊急車両のほか、環状線や高知駅からの北進など、大変車が多くなってきている中、この1年遅れることの影響を踏まえて、交通量の増加に対する対応策を検討する必要があるのではないかとの質問がありました。

執行部からは、現在の交通状況について、6月に現地で調査を行ったので、それを分析する必要がある。現在、暫定供用に伴い新たな交通が生まれており、県警でも現地で

実際に東西南北の交通を見て、信号の秒数とかを試行錯誤で調整している。県としても、道路管理者として何ができるかを考えたいとの答弁がありました。

以上をもって、産業振興土木委員長報告を終わります。

◎土居委員長 それでは、御意見をどうぞ。

小休にします。

〈小休〉

◎ 6 ページの一番下の段落で、執行部からは、安全管理の部分は非常に大事で、現在アドバイザーの方に入ってもらいとあり、その後の、安全確認事項の確認とありますが、確認というと、もう決まったことをきちんとできてるかどうかの確認なので、それならアドバイザーが別にいらないということになるので、点検とかに変えたほうが、アドバイザーの方がここは必要だっていうたら、追加もあり得るわけですから、確認事項の確認を点検でも、ここだけ言い回しを変えたらどうかなと思います。

◎ 9 ページの下から4行目。信号の秒数とかを、信号の秒数などにした方が。

◎ その少し上、3行目上。それを「また分析する」必要があるってところ、「また」は、読み原稿にはなかったような気がするけれど。

◎ 「また分析する」ってよりは、ない方がいいと思います。

〈正場〉

◎土居委員長 はい。それでは正場に復します。

ただいま協議いただきました文案により、本会議での委員長報告を行うことといたします。

なお、現在御提案をいただいた内容を含めて、細部の文案の調整は正副委員長一任でよろしいでしょうか。

(「異議なし」と言う者あり)

◎土居委員長 御異議なしと認めます。

よって、さよう決定いたします。

《閉会中の継続審査》

◎土居委員長 次に、閉会中の継続審査の件を議題といたします。

お諮りいたします。

当委員会は、閉会中も継続して審査並びに調査を行いたいので、お手元に配付してある案のとおり申し出ることにより御異議ありませんか。

(「異議なし」と言う者あり)

◎土居委員長 御異議なしと認めます。

よって、さよう決定いたしました。

《その他》

◎土居委員長 以上で日程は全て終了いたしました。閉会の前に皆さんに2点お諮りしたいことがございます。

《出先機関調査の取りまとめ委員会の日程》

◎土居委員長 まず1点目としては、「出先機関調査の取りまとめの委員会」を7月29日、月曜日の午後1時より開催したいと思いますが、御異議ございませんか。

(異議なし)

◎土居委員長 はい。御異議なしと認めます。

よって、さよう決定いたしました。

なお、取りまとめ項目については、正副委員長一任とさせていただきます。

《県外調査について》

◎土居委員長 次に、委員会の県外調査の候補地について、書記に説明させます。

◎書記 県外調査の候補地について御説明させていただきます。

おおまかな候補地としては2つございまして、中部案と東北案としております。

中部案は、まず名古屋へ飛び、FDAで高知名古屋線の現状を調査した後、岐阜の白川郷で過疎地での観光について調査を行い、富山で宿泊。翌日、長野県へ行き、長野県庁、飯綱町で、移住や体験型観光、デマンドバスなどの取り組みについての調査をし、最終日は三峰川総合開発事務所で、ダムの堆積土砂対策、飯田市役所でソサエティ5.0と関連した人材育成、体験型観光について調査をする行程案となっています。

東北案は、昨年途中で中止となった青森県の国際観光の取り組みなどのほか、東日本大震災からの復興と津波対策の取り組みについて、宮城県から岩手県の石巻市、陸前高田市、釜石市などを調査候補としております。

日程案の下に調査候補先の資料と地図をつけています。

本日は、調査する方面と日程を決めていただけたらと思いますが、日程については、事前に各委員の皆様を確認させていただいた結果を基に8月26日から28日までを案とさせていただきます。

また、調査先との交渉はこれからになります。

今回、調査先に県庁や市役所が多くありますが、各議会の定例会開催中は調査に対応していただくことが困難になりますので、その時は調整をいたします。

この候補以外で希望があれば、また調整したいと思います。

以上で説明を終わります。

◎土居委員長 それでは、このことについて協議したいと思います。

御意見をどうぞ。

小休にいたします。

〈小休〉

- ◎ 中部案がいいんじゃないかなと。
- ◎ 中部案がいいです。
- ◎ 移住者が経営しているような宿に泊まれないか。
- ◎ 白川郷には泊まれないですか。
- ◎ 初日に調査先を増やすことで、白川郷で調査を終え、宿泊することは可能だと思います。
- ◎ 調査時間の60分と90分の違いの話を。
- ◎ 調査時間60分と90分の違いですが、60分は座学のみで、90分は座学に加えて現地視察を30分加えた時間を想定しております。
- ◎ 時間的には白川で泊まっても大丈夫ですか。
- ◎ 翌朝、少し早くなりますが、2日目の日程から対応は可能です。
- ◎ せっかく、中山間地へ見に行くのだから、両方、県庁所在地で宿泊しなくてもね。
- ◎ 白川郷はどぶろくが有名ではないですかね。産振関係で、どぶろくの製造とか、そんな調査も検討できないですか。
- ◎ 可能であれば、白川郷での宿泊を検討していただいて。全体的な日程としてはこれでもいいのではないかなと思います。
- ◎ それでは白川郷での宿泊ができるような日程を検討していただいて。
- ◎ 流れとしては、よろしいですか。

〈正場〉

- ◎**土居委員長** それでは、正場に復します。  
協議の結果、調査先につきましては、案1の中部方面と致します。  
日程につきましては、8月26日から28日までと決定いたしたいと思いますが、御異議ありませんか。

(異議なし)

- ◎**土居委員長** 御異議なしと認めます。  
よって、さよう決定いたしました。  
なお、調査宿泊先等に係る、細部については、正副委員長に一任をお願いいたします。

《閉会》

- ◎**土居委員長** 以上をもって、日程は全て終了いたしました。  
これで、委員会を閉会いたします。

(午後1時21分閉会)